

日本笑い学会 東北支部

今回のコーナーは、「笑い」の大切さを学術的に研究し、その実践・啓発活動に取り組む日本笑い学会東北支部の事務局長/坂本宏一様に、新年の抱負と活動の展望などについて寄稿いただきました。

■ 私たちの活動理念と新年の抱負

皆さま笑年明けましておめでとうございます。
私たちは、自分自身に「笑いの灯」をともすことで心身の幸せを見つけ出し、「自分の笑い」が周りにも明るさと健康と平和をもたらすことを願って、様々な角度からマジメに笑いの研究・実践活動をしています。私たちの名前を初めて聞く人の大半は吉本興業をイメージして「ああ、お笑い学会ですか」と言います。「お」を付けるか付けないかで目くじらを立てることでありませんが、「笑い」に「お」を付けるのは、「笑い」という行動が人間固有のものであり、それだけ「笑い」が人間にとって大切そして御利益があると認識しているからなのでしょうね。当会は、この「笑い」について医学・心理学・民俗学・文学・美術・文化・芸能・歴史など多方面から学術的に学ぶ団体で、もちろん漫談や落語、マジック・腹話術など笑い芸と称するものの実践もその一端です。これからも更なる充実を目指して笑進して参ります。

■ 団体概要と活動状況

- ①本部：大阪市/会員は約 700 名、全国に 17 支部
- ②東北支部：東北 6 県をカバー/会員は約 70 名
- ③公開イベント「笑学校」：年間 5 回（仙台市内ほか他県でも）
- ④笑い学研究会：年間 7 回（主に仙台市内、笑いパフォーマンス演習の場もあります）
- ⑤笑いの出前講演：いつでもどこへでも・公民館・市民センター、老人会・婦人会、町内会、高齢者施設、民間企業、JA、消防署関連、学校等



笑いの出前講演風景

■ 支部大会#26 で「笑集力」が結実！

2022.11.20（日）仙台市福祉プラザにて。当日の目玉は、当会のもと会員で仙台市出身の落語家二つ目「春風亭与いち（24）」を特別ゲストに招いての公演。彼は子ども時代から当支部支部長（歯科医）の患者で、「落語っておもしろいよ」と声をかけられたのが落語家を目指すきっかけだと言う。向山高校時代から当会の「笑学校」や「出前講座」で落語を披露し、多くの人々に笑いを届けていました。高校卒業後、春風亭一之輔の二番弟子として入門し、四年目にして早くも二つ目に昇進という古典落語の実力派です。当日の会場定員は 302 席。ここを満席にして彼をカづけようと、会員が様々なルート・手法で広報に努めた結果、263 名の参加者でした。昔からの深い笑縁と、与いちの熱演、会員の集客努力、参加者の笑エネルギーとが結実した楽しいイベントでした。



■ 名取市民の皆さまへ

笑う心・笑いたい心さえあれば、老若男女を問わず、どなたでも入会歓迎。お待ちしております。年会費 ¥3,500、支部主催のイベントは入場無料、ほか笑いに関する有用な資料・情報等の提供を受けます。

問合せ先

日本笑い学会東北支部事務局/坂本宏一
Tel & Fax : 022-386-3517
E-mail : nati.skm@f8.dion.ne.jp